

日中科学技術

No. 98

2001.9.20

発行所

日中科学技術交流協会

〒152-0023 東京都目黒区八雲2-8-11
第1益戸ビル3F 電話 03(5701)4913

私の日中交流——中国からの留学生受け入れ体験記

電気通信大学名誉教授、もと電気通信大学長、本協会副会長 有山正孝

私は最近10年あまり、大学行政に深く関与して教育研究の第一線からは遠ざかっておりましたので、学問的に内容のあるお話はできませんから、過去20年程の間、特に力を入れて取り組んで参りました留学生受け入れと大学間交流等を通じての、私のささやかな日中交流の体験をお話してご参考にいたしたいと思えます。

ハルビン船舶工程学院のこと

私が中国の高等教育機関の教育者・研究者と接触を持ったのは、1979年以後のことです。それは文化大革命が終息して、中国が開放政策に向かって動き始めた時期に当たります。

この年、日中科学技術交流協会の斡旋で、ハルビン船舶工程学院の王松如院長の率いる考察団が来日して我が国のいくつかの大学・研究所を訪問したのですが、その中に私の勤務していた電気通信大学も含まれておりました。

その際、私と同じくコンピューター・サイエンスの分野を専門とする花柵先生という方と知りあったのが縁で、1981年6月にハルビンに招かれ、3週間の集中講義をいたしました。

この大学は現在はハルビン工程大学と改名して

おりますが、当時はその名の示す通り造船工学に重点を置いたインスティテュート オブ テクノロジーで、中国教育部と第6工業部、これは造船工業を管轄していた部局ですが、その双方から予算を貰い、かつ管理されていました。

ハルビンと云えば大平原の真直中の町ですから、どうしてこのような所に造船工学の学校があるのかと問うたところ、第一に松花江は大きな河であるから大きな船も航行できること、第二に重要な教育機関であるから国の内奥部に設置したこと、第三にそれでもハルビンは中国の中ではどちらかと言うと海岸に近い（たしかに5～600キロ）場所であることという返事が返ってきて、返す言葉がありませんでした。

講義はその頃ようやく普及し始めたコンピューターによる大型数値計算に関する話をしました。当時ハルビン船舶工程学院には初期の集積回路とコア・メモリーを用いた、その頃の日本で云えばOKITAC5090に似た性能の計算機が稼働しておりましたが、かなり年配の人から若手にいたるまでの、教官を交えた5～60人の人々が毎日熱心に聴講され、こちらにも話に力が入りました。しかし土曜・日曜を除いて午前は8時半から11時半まで、

午後は1時半から4時半までというスケジュールで、かなり重労働でした。

講義は日本語で行ない、後で申し上げます進習生という制度で日本へ留学することが決まっています。日本語の特訓を受けた人が、実践の訓練を兼ねて通訳してくれました。ご承知の方が少なくないと思いますが、その当時の中国の大学ではロシア語の出来る人は多かったのですが英語を話す人は少数派でしたから、英語で話しても通訳が必要、グループでの会話も日本語と中国語を話せる人・日本語と英語を話せる人・中国語と英語を話せる人が三つ巴で、日中英三か国語が入り乱れるような状況でした。そして講義中に通訳が立往生すると、フロアから年配の先生が助け船を出してくれているのですが、それは我々としてはいささか複雑な想いであった次第です。

余談ですが、1981年と云えば文革が終り4人組が逮捕された1976年から5年目で、ハルビンの町はまだきわめて地味で、人々は全て人民服、国の機関である大学や友誼賓館の門には着剣した小銃を構える衛兵が立ち、自動車は稀でした。話は飛びますが、その当時は北京でさえ中関村や友誼賓館のある海淀路のあたりはまだ全くの農村風景で、二頭立て・三頭立ての馬車が巾をきかせておりました。しかし集中講義が終った後で上海や杭州に参りましたところ、男は開襟シャツ、女性は俗に云うアップパップ姿が大部分で、商店の店先の彩りも華やかなのに驚きました。日本では何処に行っても同じ様で特徴がなく、むしろその一様性が好まれ重んじられているのに比べて、中国のような広大な国の中では gradient が不可避免的に大きいのだな、と実感した次第です。

話を戻しますが、集中講義を終ってハルピンを発つ日に飛行場まで送ってくれた花欄先生、この人は四川の出身で私と同じ1929年の生まれなのですが、道路の両脇に地平線まで拡がる畑を指して、『文革の頃、私は毎日トラックでこのあたりに連れて来られて畑仕事をさせられていた。健康のためにはよかったけれど…』と言ったことが印象に

残っています。

この人とは随分親しくなって本音を言い合える仲になったのですが、こういう痛いことも言われました。

『今は中国にくらべると貴方がたは良い計算機環境を享受しているが、研究という面に限って言えば、貴方がたはメーカーに主導権を取られているではないか。中国では不自由ではあるが研究は我々大学人がリードしているから、その点はハッピーだよ。』

ハルビン船舶工程学院については後日談がありますが、それは後で申し上げます。

中国科学院の招聘による訪中

さて同じ1981年の8月のことですが、中国科学院国際合作局の故崔泰山先生が、当時の4~50才代の研究者若干名を、2週間ほど中国に招いてくださいました。私もさいわいそのメンバーに加えていただいたのですが、他には茅幸二さん、朝永惇さん、野上謙一さん、渡辺正さん等がおいでになりました。日中交流の『井戸を掘った人々』の次世代の人たちにも中国を知ってもらい、子々孫々に至る交流をとという崔泰山先生のお考えであったと伺っていますが、そのご遺志に多少なりとも応えたいと思っている次第です。

その際は、北京で北京大学・清華大学・科学院の計算中心・計算科学研究所など、西安で西安電信工程学院・光学精密機械研究所、上海で復旦大学・原子核研究所など、合肥では科学技術大学、光学精密機械研究所などを訪問し、主な訪問先ではメンバーが交替で講演をしました。

この訪中を通じて中国の大学・研究所の当時の状況をかなり幅広く知ることができました。それはその頃にはもう随分豊かになっていた日本に比べればまことに質素というか貧しいものでしたけれど、第2次大戦直後の日本がそうであったように意欲と活気に満ちていて、将来恐る可しという印象を受けました。

またまた余談になりますが、現在の日本の大学

は物質的には豊かになったものの、慢性的にマンパワーは不足し、異質の業務が増え、教官は元東大総長の吉川先生流に云えば『時間の質の甚だしい劣化』に悩まされて、研究に立ち向かうドライブイン・フォースも何か質が変わってしまったように感じるのはいずれでありましょうか。時代の変化とは云え、果たしてこれで良いのだろうかと思えるところでもあります。

それはそれとしてこの時の訪中は、其の頃から盛んになった中国からの留学生の受け入れ、そして近年になって活発になった大学間交流の展開のために、私のにとっては大変役立ちました。

また中国に多くの知人ができました。その中には科学院の翻師(通訳)として我々に全行程同行してくれた張松林さんや上海分院の開健偉さんのように、その後学術振興会の駐在員あるいは駐日本中国大使館の館員として日本に長期駐在されて、家族ぐるみのお付き合いが続いている人たちも少なくありません。

中国政府派遣留学生と進修生

さて1980年頃から中国政府派遣留学生の受け入れが始まっていました。現在も文部科学省では留学生を、学資の出所により国費、政府派遣、私費の3つのカテゴリーに分類しておりまして、国費というのは日本政府が奨学金を与える者、政府派遣というのはそれぞれの国が奨学金を出している者です。

戦後、アジア諸国からの留学生は比較的早い時期から来日しておりましたが、中国本土からの留学生は、少なくとも文革期には絶えていた筈です。そして1960年代から受け入れてきた東南アジア系の留学生の中には率直に云ってレディネスに欠ける者、あるいは不適應を示す者が多く、補講が必要であったりして、現場では対応に大変苦労させられておりました。

ところが、1980年に初めて迎え入れた中国政府派遣留学生は、資質に優れ、意欲に富み、日本語の予備教育も十分で、我々の留学生観を大きく書

き換えてくれました。ただ残念なことに彼ら・彼女らの卒業後のフォローはできておりません。

一方、時期を同じくして進修生という制度が生まれました。これは中年の大学教員を日本に留学させるシステムで、思うに文革期のブランクを補い、再度チャージアップすることがその主たる目的であったと理解しています。私のところでも講師レベルの人を何人か受け入れましたが、この人達は帰国後に勤務先で活躍して昇任し、今日に至るまで交流のある人も少なくありません。中には追々定年を迎える人もあり、来日当時に既に大人でしたから、若い学生諸君とは違う付き合いがあった、中国の大学の素顔を知ることができました。或るとき、中国では講義をどのようにするかという話になって、一人はこのように云いました。

『私達は前日に講義内容を暗記して、教壇から学生の顔を見ながらそれを言って聴かせる。1回話して学生が理解した様子なら先に進む。理解不十分の様子なら繰り返す。』

これが一般的であるかどうか知りませんが、少なくとも当時、中国の大学のキャンパスのあちらこちらで、学生達が早朝・昼休み・放課後に教科書を手にして読んでいる様子はいかにも四書五經の素読をしているみたいで、もし自然科学をそういう訓詁の学の調子で勉強しているなら適切な学習方法ではないのではないか、と余計な心配もしたのですが、それは杞憂であったようです。

なおこの中国政府派遣留学生と進修生の制度は現在、廃止されています。

一方その頃から、中国からの私費留学生が急増して、質の多様化、低下を引き起こしました。トップ・レベルでは変わりはないのですが、裾野の方ではさまざまな問題が起こったのです。留学か就学かそれとも就労かといったようなことが問題となり、大学でも研究生として受け入れる留学生は質の管理が甘く、物議を醸すことがありました。逆にいわゆる就学生を受け入れている日本語学校の質も問題になりました。

しかし近年は受け入れる側も経験を積んで賢明

になり、日本語学校の自己規制も厳格になって、事態は改善されていると申し上げて宜しいかと思えます。

私費留学生に関することは後に改めて触れます。

短期留学制度と大学間協定

文部省は平成7年(1995年)から短期留学制度というものを設けました。これはヨーロッパの Erasmus 計画などをお手本にして設けられたもので、学部学生または大学院生を、ホーム・ユニヴァーシティに在籍のままホスト・ユニヴァーシティで半年か1年、勉強させる制度です。授業料は相互不徴収、つまりホーム・ユニヴァーシティの方に納付すればよく、学生は奨学金と往復航空運賃と一時金を支給されるという結構な制度です。

但し日本側では日本語、日本文化についての教育をするのは勿論のこと、留学した学生の卒業が遅れないようにするため、各々の専攻に関わる専門科目の授業も行なって、ホーム・ユニヴァーシティの方で認定して卒業に必要な単位数に算入してもらえるようにすること、そのために講義は英語でしなくてはならない、と云うことで、受け入れにはかなりの負担も伴います。

さらに国立大学に対しては、これを実施するなら教授1助教授1事務官1の定員をつけるが、毎学期学生20人を受け入れるべし、という条件を課されました。また、授業料相互不徴収を認められる条件として、ホーム・ユニヴァーシティとホスト・ユニヴァーシティの間で学生交換協定を締結することも必須となっています。

後でも申し上げますが2000年5月1日現在、我が国の受け入れ留学生総数64,011人のうち短期留学生は5,082人で、この制度による留学生はかなり急速に数が増えております。しかもそのうち約30%にあたる1,435人は中国から来ています。

私が勤務しておりました電気通信大学でもこの短期留学制度を導入するか否か、かなり時間をかけて慎重に検討しました。文系の分野では日本文化研究というようなテーマが考えられますが、私

どものような理工系単科大学では、学生、特に学部や修士の学生を1年間受け入れることにどれほどの教育上のメリットがあるか、また諸外国の大学にニーズがあるかという点が特に重大な問題点の一つでした。さらに英語で授業するとすれば、現段階では一般的には日本人学生と別のクラスを設けなくてはならないだろうということも重荷でした。しかし院生ならば研究室に受け入れてもらって学位論文のための研究の一部をやらせてもらえばよいので、余り問題はありませぬ。但しその場合は双方の指導教官の間で研究交流があることが、不可欠とはいいいませんが望ましいことです。そして院生の受け入れから教官同士の研究交流に発展することも有り得るわけです。紆余曲折はありましたが、結局平成9年度から試行という形で若干名の短期留学生を受け入れるとともに平成10年度概算要求を提出し、それが認められてこの制度を本格的に立ち上げました。

これに伴い、短期留学生を確保するために協定校の開拓にも乗り出しました。その結果、現在世界各国24の大学と交流協定を締結しておりますが、そのうち中国の大学は、中国科学技術大学・上海交通大学・重慶大学・ハルビン工程大学・北京郵電大学の5大学です。協定締結・調印のため私も何回か中国に足を運びました。その甲斐あって、現在、特に上海交通大学・重慶大学・ハルビン工程大学は定常的に優秀な学生を短期留学生として送り込んでくれています。

ハルビン工程大学は先にお話ししたようにハルビン船舶工程学院が改称したのですが、実は1979年の考察団来訪の際にも交流協定締結の打診があったのです。その時期には国立大学が国際交流協定を結ぶ例はまだ稀で、特に国立大学としては外様で規模も小さい電気通信大学が進んで、それも中国の大学と交流協定を結ぶなんて飛んでもないというのが当時の大学執行部や事務当局の姿勢でありました。しかし時代が変わって国際交流が推奨されるようになり、たまたま1997年の夏にハルビン工程大学の学長と数名の教授が再度来学

された機会に話が進み、19年目に話が実った次第です。

なお科技大との縁は、科技大と東大工学部との交流によって先方から何度か学長を含む代表団が来日された際に電通大を訪ねていただき、その間に話が進んだものです。

上海交通大学は、同大学の産学協同に電通大の卒業生の経営する会社が深く関与していたことから副学長とのパイプが出来て、話がまとまりました。

重慶大学は、そこの学部卒業生が電通大大学院に留学して博士の学位をとった後、助手として勤務している間に橋渡しをしてくれたものです。

北京郵電大学の場合は電通大の一教授が郵電大の現学長と同じ分野の研究仲間であったため、研究協力という切口から協定締結が実現したものです。北京で調印式を行なった際には記念合同シンポジウムを同時に開催するという熱の入れようで、今年の秋には第2回のシンポジウムを東京で開催する予定と聞いております。

このように大学間の交流を促進するためには、先ず人と人との交流を育てて行くことが肝心のようです。

短期留学生の受け入れは正直なところ関係教官にかなりの負担を強いるものであることは否定できませんが、大学にとってメリットもありました。

学部学生として短期留学を終えた者が再度大学院への入学を希望してきた例もあります。このようなパターンで国費留学生の大学推薦をすれば、指導教官にとっても学生にとってもメリットがあると云えます。

また今日のように国際化、グローバリゼーションということが盛んな時代には、諸外国の大学生の実態を居ながらにして観察できる事は我々にとって良い参考になりますし、このようなきっかけから大学間の交流が強化されるのは好ましいことであると考えております。

なおこの短期留学制度は本来、協定校間で双方向的に留学生に交換があることを期待しているの

ですが、日本からの送り出しの方は圧倒的に少なく、電気通信大学では過去5年間に受け入れた学生が99名であるのに対し送り出したのは21名に過ぎません。それもオーストラリアなどは希望者が多いのですが中国は2名(1名が2年間)ということで、希望者が少ないのは残念です。

この短期留学制度は、私にとっても中国との交流を助け、深める機会を与えてくれました。

日本政府の行なう日本留学のための新たな試験

我が国の留学生の受け入れ状況は文部科学省によれば7ページのグラフのとおりです。

この数が少ないと見るか、十分と見るか、人により受け取り方はさまざまでしょうが、高等教育機関の在籍者全体に対する留学生の割合を欧米諸国のそれと比較すれば、まことに少ないのです。国によってデータがを取った年が異なりますが、過去10年ほどの間の状況を見るとそれはフランスでは6.37%(93年)、アメリカでは5.58%(95年)、イギリスでは9.98%(92年)であるのに、日本では留学生受け入れのかなり増えた96年においてさえ1.48%に過ぎません。これはもっと増えて然るべき数値と申せましょう。

話はさかのぼりますが、皆様ご記憶のように、1983年から84年にかけて、当時の中曽根総理の発案で留学生10万人計画が打ち上げられました。その頃の留学生は総数6千人に満たなかったのです。それを21世紀の初頭には10万人にしようという話でした。文部省はこの計画の実現に向けてさまざまな努力をして、1993年には5万人を越えたのですが、そこで伸びが鈍って足踏みないし微減の状態になりました。そこで文部省は1997年に留学生問題懇談会を設置して対策の検討を始め、懇談会の下に設けられた専門委員会で私もいっくらかお手伝いをいたしました。

実はこの伸びの鈍化は99年あたりから一転して再び増加傾向となり、2000年5月1日現在で先程も申し上げました通り留学生総数64,011(対前年度8,256名 14.8%増)と大幅に伸びております。

うち国費留学生は8,930名で全体の14%弱です。

留学生の数の伸びが鈍った原因、それが回復した原因はいろいろ考えられますが、一つの大きな原因は、その時期に起こったアジア諸国の通貨危機であったと見られています。しかしその他にも日本への留学に対する慢性的な障壁となっている問題としては、入学者選考の過程と入国手続きの関係、言語の問題、経済問題、住居および排他的な日本社会など、幾つも挙げることができますが、とりわけ基本的で深刻な問題は、日本の大学が諸外国の大学と比較して留学生を引き付ける魅力を持つかと云う問題で、これは大学関係者一同が真剣に考え、対策を講じなくてはならない問題です。

これらのあるものは改善にかなり時間のかかることですが、比較的簡単に出来る改善策の一つとして私費留学生の入学選考手順がこのほど改正されました。

従来、私費で日本の大学に入学を志望する者は、一般的には日本に来て私費外国人留学生統一試験と日本語能力試験を受け、その上に志望校の入試を受けなくてはなりません。しかも来日前に日本の大学の入学許可を得ることができないために日本に入国するのが難しく、結局、ひとまず日本語学校に入学して在留資格を得て入国するという手順を踏まなくてはならなかったのです。

そこで『優れた留学生を日本に引きつけるために』と云う目標で、今年の秋から私費外国人留学生統一試験と日本語能力試験にかえて新たに『日本留学試験』という制度をスタートさせ、国内外でこれを実施し、渡航前に入学許可を得られるようにし、あわせて試験の内容も改善することになりました。なおこれは学部入学志願者に対するもので、大学院については各大学に任せるという方針です。

さしあたって『日本留学試験』は海外10か所で実施されることになっているのですが、中国はまだこれを受け入れていません。速やかに中国国内でこれが実施されることが望まれます。

この新しい試験制度が軌道に乗れば私費留学生

にとっては大変具合が良いこととなりますが、この試験だけで選考した場合、入学者の質がどこまで保証されるか、日本人学生との不均衡が生じないかという問題が新たに生じるものと思われます。

中国の新しい留学仲介機構

一方、中国では私費で留学するため出国しようとする者のために、1999年8月に新しい規定を作り、自費出国留学仲介機構と云う制度を設けたとのことです。

これは特に日本だけを対象にしたものではありません。ますます増加する世界各国への私費留学志願者の出国申請を適正に処理するために設けたものと思われます。その機能はまだ十分に把握しておりませんが、少なくとも留学情報提供、査証申請業務代行はするようで、日本語研修までしているところもあるようです。

これまでに全国で200くらいの機構が既に認可されているということですが、設立のためには政府に100万円の供託金を納めなくてはならず、依頼人からは7,000元から11,000元の手数料を徴収するのだそうです。

この仲介機構の機能と先に申し上げた新しい日本留学試験をどう整合させるかが今後の問題となるでしょう。

おわりに

中国の大学の入学定員は98年度108万人、99年度156万人、2000年度180万人と急増しています。99年度の大学進学率は9%以下であったようですが、これを2010年までに15%に引き上げる計画とのことです。

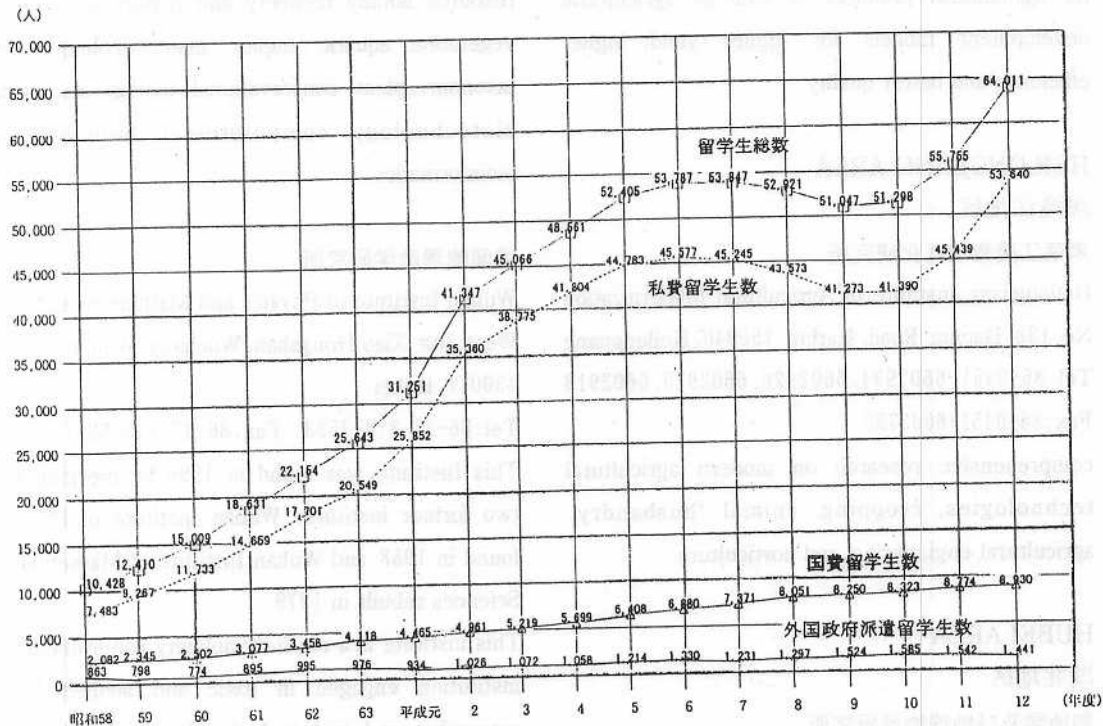
経済的に豊かになったことと一人っ子政策に起因する高等教育進学熱の昂まりに対応しなくてはならないのですが、国内の大学でオーバーフローした分は国外留学を目指すことになり、そのかなりの部分は日本を指向するものと想像されます。ちなみに平成12年5月現在、中国からの留学生は32,297名(留学生総数の50.5%)で、前年度よ

り6,390名(24.7%)も増加しています。

大学進学人口が減少しつつある日本の大学にとって、これは一つのビジネス・チャンスではありません。しかしこれを単なるビジネス・チャンスとして捉えるのではなく、これを契機として次世代

を担う若者を対象とした日中の交流・協力を展開し、相互理解を深める努力をすることが、長期的にわたっての真の日中友好、ひいては我が国の国益に結びつくものとする次第です。

留学生数の推移 (各年5月1日現在)



(注) 外国政府派遣留学生は、マレーシア、インドネシア、タイ、シンガポール、アラブ首長国連邦、クウェイト及びウズベキスタンの各国政府派遣留学生である。

中国科学院傘下の研究所一覧(その2)

GUIZHOU AREA

貴州地区

地球化学研究所

Institute of Geochemistry

No. 73 Guanshui Road, Guiyang 550002, Guizhou

Tel: 86-0851-5895095 Fax: 86-0851-5895574

geochemistry and mineralogy with the focus on ore deposit geochemistry, environmental geochemistry and mineral materials science to co-ordinate the

relationship between human beings and physical nature and to carry out research in the field of mineral resources, energy resources ecological environment, geological disasters, new mineral materials and new techniques for geochemistry.

HEBEI AREA

河北地区

石家荘農業現代化研究所

Shijiazhuang Institute of Agricultural Modernization
286 Kuizhong street, Shijiazhuang 050021, Hebei
Tel:86-10-0311-5814521 Fax:86-10-0311-5815093
comprehensive study on ecological agriculture
mainly in northern China, including agricultural
resources, agricultural ecology, agricultural
biotechnology, rural energy, processing techniques
for agricultural products as well as agricultural
development models for higher yield, higher
efficiency and better quality.

HEILONGJIANG AREA

黒竜江地区

黒竜江農業現代化研究所

Heilongjiang Institute of Agricultural Modernization
No. 138 Haping Road, Harbin 150040, Heilongjiang
Tel: 86-0451-6602934, 6602926, 6602925, 6602913
Fax: 86-0451-6603736

comprehensive research on modern agricultural
technologies, cropping, animal husbandry,
agricultural engineering, and horticulture.

HUBEI AREA

湖北地区

測地学及び地球物理研究所

Institute of Geodesy and Geophysics

No. 174 Xudong Road, Wuhan 430077, Hubei
Tel: 86-27-86783855, 86783962
Fax: 86-27-867863841

modern geodesy, earth gravity, dynamics of
lithosphere, physics of earth's interior, earth
rotation, applied geophysics, and environment and
land planning.

水生生物研究所

Institute of Hydrobiology

No. 7 Donghunanlu Road, Wuchang, Wuhan 430072
Tel: 86-27-87883481, 87883482 Fax: 86-27-87875132
freshwater ecology, ichthyology, fish genetics and

breeding, fish pathology, phycology, water pollution
biology, and river dolphin study.

武漢植物研究所

Wuhau Institute of Botany

Moshan, Wuchang, Wuhan, Hubei 430074

Tel: 86-027-87510126 Fax: 86-027-87510125

resource botany, recovery and restoration of land
vegetation, aquatic higher plant ecology, plant
taxonomy, plant conservational biology, microalgal
biotechnology, computational biology and
bioinformatics.

武漢物理数学研究所

Wuhan Institute of Physics and Mathematics

West 30# Xiao Hongshan, Wuchang, Wuhan
430071, Hubei

Tel: 86-27-87873593 Fax: 86-27-87885291

This Institute was found in 1996 by merging the
two former institutes, Wuhan Institute of Physics
found in 1958 and Wuhan Institute of Mathematics
Sciences rebuilt in 1979.

This institute is a multi-disciplinary comprehensive
institution engaged in basic and applied basic
researches, and high-tech development, with main
fields including nuclear magnetic resonance (NMR)
spectroscopy, atomic and molecular physics,
mathematical sciences and system science, and
acoustics.

武漢岩土力学研究所

Wuhan Institute of Rock and Soil Mechanics

Xiaohongshan, Wuchang, Wuhan 430071, Hubei

Tel: 86-27-87869251 Fax: 86-27-87863386

mechanical properties of discontinuous media,
constitutive relation of geomaterials, rock rheology
and seepage influent characteristics, numerical
model and computer methods of rock and soil, rock
and soil dynamics, and mechanism of reinforcement

for geoen지니어링.

武漢病毒(ビールス学)研究所

Wuhan Institute of Virology

No. 44 Xiaohongsan, Wuhan 430071, Hubei

Tel:86-27-87641921 Fax:86-27-87641921

preservation and classification of viruses, insect viruses, animal viruses hydrobiological viruses, molecular virology, plant pathogen, viral ultrastructure, bio-sensors, protein engineering, microbial pesticides, environmental microbiology, bio-nitrogen fixation, microbial metabolism and fermentation.

HUNAN AREA

湖南地区

長沙農業現代化研究所

Changsha Institute of Agricultural Modernization

Mapoling, Changsha 410125, Hunan

Tel:86-731-4615204 Fax:86-731-4612685

studies on the development of regional agriculture and agricultural sustainability in relation to its theory and technical system in southern China.

長沙大地構造研究所

Changsha Institute of Geotectonics

No. 96 Tongzipo Road, Changsha 410013, Hunan

Tel:86-731-8912650 Fax:86-731-8912637

geotectonics and metallogeny, tectonometallogeny, tectonogeochemistry, isotopic structural geology, and mineral materials.

JIANGSU AREA

江蘇地区

南京地理学及び湖沼学研究所

Nanjing Institute of Geography and Limnology

No. 73 East Beijing Road, Nanjing 210008, Jiangsu

Tel:86-25-3616936 Fax:86-25-7714759

limnology and geographical study on regional

development.

南京地質古生物学研究所

Nanjing Institute of Geology and Palaeontology

No. 9 East Beijing Road, Nanjing 210008, Jiangsu

Tel:86-25-7711556, 3282105 Fax:86-25-3357026

palaeontology, stratigraphy, paleogeography, paleobiogeography, systematics and taxonomy of fossil organisms, palaeobiology, molecular palaeontology and sedimentology, and synthetic investigation of paleoecology and paleoenvironment through geological time.

土壤科学研究所

Institute of Soil Science

No. 71 Beijing East Road, Nanjing 210008, Jiangsu

Tel:86-25-3361604, 3610462 Fax:86-25-3353590

basic theory and basic applied researchs on soil science and various related disciplines, the carrying capacity and rational exploitation of the soil resources in the key development regions of China, the amelioration and comprehensive management of moderate-low yielding soil, soilfertilisation for sustained high yield, rational application of organic manure and chemical fertilisers, land management, engineering construction, medical health work, and environment protection.

紫金山天文台

Purple Mountain Observatory

No. 2 Beijing West Road, Nanjing 210008, Jiangsu

Tel:86-25-3303921 Fax:86-25-3301459

millimetre astronomy and star formation from molecular nebula, space astronomy, and satellite dynamics.

JILIN AREA

吉林地区

长春应用化学研究所

Changchun Institute of Applied Chemistry

No. 159 Renmin Street, Changchun 130021, Jilin

Tel: 86-0431-5687300 Fax: 86-0431-5685653

polymer chemistry and physics, physical chemistry, inorganic chemistry, and analytical chemistry.

长春地理研究所

Changchun Institute of Geography

No. 16 Gongnong Road, Changchun 130021, Jilin

Tel: 86-431-5652631 Fax: 86-431-5652931

Chinese wetland ecology system, its protection and reasonable exploitation and utilization, biodiversity of Chinese wetland, natural resources, distribution of productive forces, and co-ordination of regional nature and social economy in Northeast China, geographic research on natural disasters and countermeasures for reducing disasters, synthetical research on geography of Northwest Asia, environmental geography, environment ecology, appraisal of environment quality and environment protection, regional response of the global change, application of remote sensing technology, geographical information system and monographic mapping, and manufacture and application of active and passive microwave remote sensors.

长春光学精密机械物理研究所

Changchun Institute of Optics Fine Mechanics and Physics

No. 140 renmin Street, Changchun 130021, Jilin

Tel: 86-431-5684692 Fax: 86-431-5682346

This Institute was reorganized on the basis of Changchun Institute of Optics and Fine Mechanics and Changchun Institute of Physics in July 1999. modern applied optics, optical materials, photoelectronic technology, spectral technology and

instruments, precision instruments, fine mechanical engineering opto-electrical engineering, and space optical engineering.

physics of luminescence, luminescent materials of II-VI compounds and their application, rare earth related luminescent materials and application, AC, DC electroluminescent materials of powder and thin film, planer display technique, luminescent devices of III-V semiconductor and LCD technique, organic and bioluminescence, layer structure materials and optoelectronic devices, integrated optics, and semiconductor laser devices and electronics.

长春人工卫星观测所

Changchun Artificial Satellite Observatory

Jingyuetan, Xishan, Changchun 130117, Jilin

Tel: 86-0431-4513834 Fax: 86-0431-4413550

optical observation, laser measurement, time monitoring, and theory of satellite movement.

LIAONING AREA

遼寧地区

大连化学物理研究所

Dalian Institute of Chemical Physics

No. 457 Zhongshan Road, Dalian 116023, Liaoning

Tel: 86-411-468665 Fax: 86-411-4691570

catalytic chemistry, engineering chemistry, chemical lasers and molecular reaction dynamics, chromatography, and modern analytical chemistry.

金属研究所

Institute of Metals Research

No. 72 Wenhua Road, Shenyang 110016, Liaoning

Tel: 86-24-390200 Fax: 86-24-23891320

metal physics, crystal structure and defects, surface and interface, hydrogen in metals, physical properties of solids, materials research under microgravity, tribology of surface modification of

materials, corrosion mechanism and property evaluation, alloy steels, high temperature Ti alloys, liquid metals and rapidly solidified alloys, cryogenic materials and phase transition, permanent magnetic materials, superconducting materials, intermetallics, low segregation superalloys, ceramics, carbon materials welding, rapid solidification technology, mechanical working of metals, and application and development of advanced materials.

応用生態学研究所

Institute of Applied Ecology

No. 72 Wenhua Road, Shenyang 110015, Liaoning
Tel: 86-24-23843354 Fax: 86-24-23843313

agroecology and agricultural ecological engineering, forest ecology and forestry ecological engineering, pollution ecology and environmental ecological engineering and biological and technology.

瀋陽自動化研究所

Shenyang Institute of Automation

No. 114 Nanta Road, Dongling District, Shenyang 110015, Liaoning

Tel: 86-24-23970012 Fax: 86-24-23970013

robotics and application engineering, CIMS and CIPS research and application, information measurement and processing, techniques to improve enterprises' performance, machine intelligence, and robot vision, simulation and software engineering.

瀋陽計算技術研究所

Shenyang Institute of Computing Technology

No. 100 Sanhao Street, Heping District, Shenyang 110004, Liaoning

Tel: 86-24-23892226 Fax: 86-24-23894766

supermini and micro-computer systems of high performance, network and communication systems, system engineering and application, CAS/CAM systems and application, CNC systems and

application, and numerical mathematics.

QINGHAI AREA

青海地区

西北高原生物研究所

Northwest Plateau Institute of Biology

No. 59 Xiguan Avenue, Xining 810001, Qinghai

Tel: 86-971-6143610 Fax: 86-971-6143282

zoology, botany, ecology, agronomy, plant chemistry, and rodent control.

青海塩湖研究所

Qinghai Institute of Salt Lakes

No. 18 Xinning Road, Xining 810008, Qinghai

Tel: 86-971-6304306 Fax: 96-971-6306002

geochemistry of salt lake, analytical chemistry, solution chemistry, salt lake chemistry, technology and process of separation and extraction of valuable elements from brine, inorganic material sciences and isotope chemistry, and computer application.

SFAANXI AREA

陝西地区

土壤及び水保持研究所

Institute of Soil and Water Conservation

No. 26 Xinong Road, Yangling, Xianyang 7121000

Shanxi

Tel: 86-29-7012411 Fax: 86-29-7012210

soil erosion, soil geography, soil fertility, land utilization, forest and herb ecology, crop ecology, and isotope application.

陝西天文台

Shanxi Astronomical Observatory

P. O. Box 18, Lington, Xi'an 710600 Shaanxi

Tel: 86-29-3890344 Fax: 86-29-3890196

time and frequency: theory of time, method of time-keeping, measurements of precise time and frequency, time dissemination and synchronisation,

technology and method for time service, and application of time to national defence, economy and science; astronomy: fundamental astronomy, meridian astronomy, earth rotation, dynamics of celestial bodies in solar system and observations of near-earth minor bodies, applying historical astronomy, solar physics and solar-terrestrial relationship, and some specific subjects in astrophysics.

西安光学精密機械研究所

Xi'an Institute of Optics and Precision Mechanics
No. 322 Youyi West Road, Xi'an 710068, Shaanxi
Tel: 86-29-8498708 Fax: 86-29-8484473

transient optics, space optics, opto-electronics, gradient-index optics, special optical materials, electronics, digital image processing, interference measurements, precision mechanics and various high speed detecting techniques incorporated with optics, mechanics, electronics and computer science.

地球環境研究所

Institute of Earth Environment
P. O. Box 17, Xi'an 710054

Tel: 86-29-5524744 Fax: 86-29-5522566

This was established in May 1999.

The current research program of this institute includes, global changes studies focussing especially on loess and other records from desert, lakes, ice-cores, tree ring and historical documents with both long and short time series; research on atmospheric particle compounds, biogeochemistry, studies in fields like palaeoclimate, aerosol, ecology, environment modeling.

SHANDONG AREA

山東地区

海洋研究所

Institute of Oceanology

No. 7 Nanhai Road, Qingdao 266071, Shandong

Tel: 86-0532-2879062 Fax: 86-0532-5964965

ocean dynamics and air-sea interaction, material cycle and flux in the ocean, marine ecology and sustainable use of marine biological resources, experimental marine biology and marine biotechnology, sedimentation, and palaeoceanography.

SHANGHAI AREA

上海地区

上海生物科学研究所

Shanghai Institute for Biological Sciences

No. 319 Yueyang Road, Shanghai 200031

Tel: 86-021-64310242 Fax: 86-021-64338347

This institute was established in 1999 on the basis of Shanghai Inst. of Biochemistry, Shanghai Inst. of Cell Biology, Shanghai Inst. of Materia Medica, Shanghai Inst. of Physiology, Shanghai Brain Research Inst. Shanghai Inst. of Plant Physiology, Shanghai Inst. of Entomology, and Shanghai Research Centre of Biotechnology.

structure, function and synthesis of active peptides, proteins (enzymes) and nucleic acids (DNA and RNA) as well as biomembranes and viruses, interaction and recognition between biomacromolecules, molecular, design, molecular genetics (gene expression and regulation), genetic engineering and protein engineering, and theoretical biology.

神經科学研究所 (もと上海脳研究所)

Institute of Neuroscience

No. 320 Yueyang Road, Shanghai 200031

Tel: 86-21-64748700 Fax: 86-21-64333084

mechanism of integration in single neurons, spinal mechanism of pain sensation and pain modulation,

neuron-neuro-lia interaction, functional organisation of motor cortex, modulation of ion channels by bioactive substances, c-fos expression in neurosecretory cells, cerebral mechanisms of sequential behaviour and neural mechanisms of learning and memory behaviour.

生物化学·细胞生物学研究所

Institute of Biochemistry and Cell Biology

320 Yueyang Road, Shanghai 200031

Tel: 86-21-64374430, 64315030

Fax: 86-21-64338357, 64331090

This Institute was established in May 2000

by merging the Shanghai Institute of Biochemistry and the Shanghai Institute of Cell Biology. Over the past 40 years, the former two institute had accomplished several great achievements, such as the total synthesis of crystalline bovine insulin, the total synthesis of yeast alanine tRNA, the artificial propagation of domestic fresh water fishes and artificial monogenesis of oocyte, etc.

The research field covers:

structures and expression of eukaryotic genes, genetic and protein engineering, chromosome biology, yeast molecular genetics, developmental biology, cell growth and differentiation, germ cell biology, transgenic animal, biology of cancer, immunobiology, molecular and developmental neurobiology, biological therapy of human liver and lung carcinoma, mechanism of trichosanthin action, molecular mechanisms of cellular signal transduction, and blood and vascular biology.

上海珪酸盐研究所

Shanghai Institute of Ceramics

No. 1295 Dingxi Road, Shanghai 200050

Tel: 86-21-62512990 Fax: 86-21-62513903

crystal growth and crystal materials, noncrystalline materials and inorganics coating, engineering

ceramics and functional ceramics, bioeco ceramics, space materials, etc.

上海药物研究所

Shanghai Institute of Materia Medica

No. 294 Taiyuan Road, Shanghai 200031

Tel: 86-21-64311833 Fax: 86-21-64370269

chemistry of natural products, neuroactive substances, anti-neoplastic agents, fertility -regulatory compounds, immuno-modulatory agents, cardiovascular remedies, medicinal chelating agents, antibiotics, genetic engineering and quantum pharmacology.

上海冶金研究所

Shanghai Institute of Metallurgy

No. 865 Chang Ning Road, Shanghai 200031

Tel: 86-21-62511070 Fax: 86-21-62513510

functional materials and devices, microelectronics, and corrosion and protection of metals.

上海原子核研究所

Shanghai Institute of Nuclear Research

No. 2019 Jialuo Highway, Jiading District,

P. O. Box 800-204, Shanghai 201800

Tel: 86-21-59553998 Fax: 86-21-59553021

theoretical nuclear physics, experimental nuclear physics, applied nuclear physics, nuclear electronics and instrumentation, radiochemistry and radio pharmaceuticals, radiation chemistry and radiation processing, and accelerator engineering, synchrotron radiation and its application.

上海光学精密机械研究所

Shanghai Institute of Optics and Fine Mechanics

No. 390 Qinghe Road, Jiading, Shanghai 201800

Tel: 86-21-59534890, 59528896

Fax: 86-21-59528812

high intensity optics, information optics and

quantum optics, optical computing, optical storage, optical information processing, nonclassical optical field, atomic optics, laser spectroscopy, laser and nonlinear optical materials, new laser physics and technology, high-performance laser engineering and unit technology, opto-electronic material and devices, technical optics, thin film optics, optical disk technology, modern optical instruments, laser isotope separation, laser industrial processing and laser medicine.

上海有機化学研究所

Shanghai Institute of Organic Chemistry

No. 354 Fengling Road, Shanghai 200032

Tel: 86-21-64163300 Fax: 86-21-64166128

natural product chemistry, bio-organic chemistry, elementorganic chemistry, organometallic chemistry, physical organic chemistry, organic material sciences and polymers chemistry, computer chemistry, and analytical organic chemistry.

国立遺伝子研究センター

National Center for Gene Research

No. 500 Caobao Road, Shanghai 200233

Tel: 86-21-64822885 Fax: 86-21-64825775

This Center was established in June 1992, which is committed to the genome research, especially to the plant genomics.

This Institute consists of five groups: sequencing groups, mapping group, bioinformatics group, gene function group and FISH group.

This Institute is currently focusing on large scale DNA sequencing of rice chromosome 4 to unveil its genetic mysteries at the molecular level with the intention to improve rice breeding.

上海植物生理生態研究所

Shanghai Institute of Plant Physiology and Ecology

No. 300 Fenglin Road, Shanghai 200032

Tel: 86-21-64042090 Fax: 86-21-64042385

energy transduction in photosynthesis, physiology and ecology of photosynthesis, photosynthetic carbon metabolism, biological nitrogen fixation, genetic engineering of plant cells, protoplast culture, cell differentiation and tube plants, regulation and control of hormones in metabolism, hormone physiology, plant development, physiology of nutrition, environmental physiology, stress physiology, transport in plant, agriculture in future and space life science, molecular genetics, genetic elements, microbe engineering, microbe genetics and bacteriophages.

上海技術物理研究所

Shanghai Institute of Technical Physics

No. 500 Yutian Road, Shanghai 200083

Tel: 86-21-65420850 Fax: 86-21-63248028

infrared physics and narrow gap semiconductor physics, semiconductor epitaxy materials and superlattice, optoelectronic sensors and infrared detectors, optical thin film technique, miniature cooling technique, optical information processing technique, infrared imaging techniques, air-borne and space-borne remote sensing techniques for meteorology, natural resources and environment monitoring, experimental facilities for space science and optoelectric testing technique for industrial application.

上海天文台

Shanghai Astronomical Observatory

No. 80 Nandan Road, Shanghai 200030

Tel: 86-21-64386191 Fax: 86-21-64384618

astrodynamics, astrophysics, astrometry, radio astronomy, satellite dynamics, history of astronomy, time and frequency standards, hydrogen masers, and new astronomical instruments.

上海生物工程実験センター
Shanghai Research Centre of Biotechnology
No. 500 Caobao Road, Shanghai 200030
Tel: 86-21-64700892 Fax: 86-21-64700244
key technology for the development of biotechnology, including cloning and expression of genes, cell fusion and large-scale culture of cells, immobilised enzymes and immobilised cells, microbial conversion, product separation, purification and analysis, biological reactors, and fermentation and down-stream process optimisation, pilot research and production.

SHANXI AREA

山西地区

煤炭(石炭)化学研究所
Institute of Coal Chemistry
No. 27 Taoyuan South Road, Taiyuan 030001, Shanxi
Tel: 86-351-2025184, 4041627
Fax: 86-351-4041153
gasification and indirect liquefaction of coal, chemical engineering, catalysis, technologies and products of fine chemicals and new carbon materials, physical and chemical analysis.

SICHUAN AREA

四川地区

成都生物研究所
Chengdu Institute of Biology
No. 9 Section 4, Renmin South Road, Chengdu 610041, Sichuan
Tel: 86-28-5220920 Fax: 86-28-5222753
natural medicines, plant genetics, botanical and microbiological resources, utilisation of microbiological technologies, environmental treatment and environmental ecological engineering, phytoecological observations, special microbes, and classification of fauna of amphibians, reptiles and botany.

成都計算機応用研究所
Chengdu Institute of Computer Application
No. 9 Section 4, South Renmin Road, P. O. box 237
Chengdu 610064, Sichuan
Tel: 86-28-5217501, 86-28-5228947
Fax: 86-28-5229357

computer application systems, large computer computing service, computer software and hardware, numerical computing methods, control techniques and application mathematics.

成都山岳障害及び環境研究所

Chengdu Institute of Mountain Hazards and Environment
P. O. Box 417, Chengdu 610041, Sichuan
Tel: 86-28-5228816 Fax: 86-28-5222258
basic and applied research on debris flows, landslides, mountain hazards, degraded mountain environment and alpine geoecosystem, regional development, remote sensing technology, and cartography.

光学及び電子機器研究所

Institute of Optics and Electronics
No. 9 Section 4, Renmin South Road, Chengdu 610041 Sichuan
Tel: 86-28-5100341 Fax: 86-28-5223143, 5100070
applied optics, adaptive optics, optical technology and equipment for microlithography, electro-optical tracking and measuring techniques and systems, precision mechanics and mechatronics, optical-electrical sensors and precision graduating techniques.

成都有機化学研究所

Chengdu Institute of Organic Chemistry
No. 9 Section 4, Renmin South Road, Chengdu 610041 Sichuan
Tel: 86-28-5222143 Fax: 86-28-5223978

basic, applied and development research on organic synthesis chemistry.

XINJIANG AREA

新疆地区

ウルムチ天体観測所

Urumqi Astronomical Observatory

No. 40 Beijing South Road, Urumqi 830011, Xinjiang

Tel: 86-991-3838007 Fax: 86-991-3838628

astrophysics, astrometry, astrogeodynamics and very long baseline interferometry (VLBI) techniques, etc.

新疆生態地理研究所 (元生物土壤沙漠研究所)

Xinjiang Institute of Ecology and Geography

No. 40C Beijing South Road, Urumqi 830011, Xinjiang

Tel: 86-991-3838453 Fax: 86-991-3835459

formation, characteristics, evolution and comprehensive evaluation of living things, soil and other natural resources in Xinjiang, and observation and process of important problems in ecology and environment.

新疆化学研究所

Xinjiang Institute of Chemistry

40-2 Beijing South Road, Urumqi 830011, Xinjiang

Tel: 86-991-3838819 Fax: 86-991-3838957

surface chemistry, biochemistry, natural product organic chemistry, and inorganic and analytical chemistry.

新疆地理研究所 次の研究所に合併

Xinjiang Institute of Geography

No. 40 South Beijing Road, Urumqi 830011, Xinjiang

新疆生態地理研究所

Xinjiang Institute of Ecology and Geography

No. 40 Beijing South Road, Urumqi 830011, Xinjiang

Tel: 86-991-3838453 Fax: 86-991-3835459

rational utilisation and development of water resources, resource layout and territorial development, management and planning, environmental change and hazard control, geographical information system, and application of remote sensing.

新疆物理研究所

Xinjiang Institute of Physics

No. 40A Beijing Road, Urumqi 830011, Xinjiang

Tel: 86-991-3838931 Fax: 86-991-3835823

solid state radiation physics, radiation reinforcement and radiation microdosimetry, computer control systems and MIS, and semiconductor sensitive materials and devices.

YUNNAN AREA

雲南地区

昆明植物研究所

Kunming Institute of Botany

Heilongtan, Kunming 650204, Yunnan

Tel: 86-871-5223170 Fax: 86-871-5150227

exploitation, utilisation and protection of plant resources on the basis of basic theoretical botanic studies, plant taxonomy and geography, phytochemistry, plant physiology, phytochemistry, and ethnobotany.

昆明生態研究所 (新しい名簿にはなし)

Kunming Institute of Ecology

50 Xuefu Road, Kunming 650223, Yunnan

Tel: (0871) 515-4131 Fax: (0871) 516-0916

sustainable development and conservation of biological diversity, forest ecosystem studies, rural development, environmental studies, urban ecology, global change, etc.

昆明動物研究所

Kunming Institute of Zoology

No. 32 Jiaochang East Road, Kunming 650223, Yunnan
Tel: 86-871-5190390 Fax: 86-871-5191823
vertebrates and entomology, cytogenetics and
cellular and molecular evolution, primate biology,
animal biology, animal biochemistry, and biology
conservation.

西双版纳热带植物园

Xishuangbanna Tropical Botanical Garden
Menglun, Mengla 666303, Yunnan
Tel: 86-691-8715071 Fax: 86-691-8715070
E-mail: zjw@bn. yn. cninfo. net

XTBG is situated in the Southern part of Yunnan
Province. It was established in 1959. The Garden
is aiming at the conservation and the sustainable
use of biodiversity. Through over 40 years of
development, the Garden has been constructed as
a comprehensive botanical garden, integrating the
study of tropical botany, plant germplasm
preservation and scientific education.

雲南天文台

Yunnan Observatory
Phoenix Hill, Eastern suburb of Kunming 650011,
Yunnan
Tel: 86-871-3347087 Fax: 86-871-3358437
astrophysics, solar physics, celestial mechanics,
radio astronomy, astrometry, and new technology
for astronomy.

中国科学技术大学

University of Science and Technology of China
96 Jinzhai Road, Hefei 230026, Anhui
Tel: (0551) 360-1111 Fax: (0551) 363-1760
departments of mathematics, physics, chemical
physics, modern physics, modern mechanics,
electro-engineering and information science, earth
and space science, biology, precision machinery and
instrumentation, automation, computer science and

technology, applied chemistry, thermal science and
energy engineering, material science and
engineering, information management and decision
science, management science, statistics and finance,
foreign languages; two graduate schools (one in
Beijing and the other in Hefei), a science school, a
hi-tech school, a business school, a management
school, adult education, State Key Lab. of
Synchrotron Radiation and State Key of Fire
Science.

第27回(2001年度)定期総会議事録

日時: 2001年7月27日(金)

場所: 一ツ橋学会館310号室 13:30~14:30

出席者: 会長 菅野昌義 名誉顧問 伏見康治

副会長 有山正孝、

理事 井形直弘、伊藤 学、小川智哉、
鈴木 伸、土屋喜一、深津 保
矢田敏夫

会員 相徳勝信、紺野大介、松下電器産
業(高貝)

以上の他委任状提出者88名

1. 開 会

菅野会長より開会の挨拶があった。

2. 議長選出

菅野会長が議長に選出され、議長選出の挨拶
があった。

3. 議事録署名人選出

深津 保、矢田敏夫両会員を議事録署名人に
選出した。

4. 議 事

(1) 第1号議案

①2000年度事業報告 菅野会長から報告があ
り承認された。

②2000年度収支決算報告 菅野会長より報告
があり承認された。

③2000年度監査報告 矢田監事より監査報告がなされた。

(2) 第2号議案

①2001年度事業計画(案) 菅野会長より説明があり承認された。

②2001年度収支予算(案) 菅野会長より説明があり承認された。

(3) 第3号議案

まず理事会の提案により向坊 隆顧問を名誉顧問に推薦することが了承された。さらに故小田 稔監事の後任として梶井 功氏が監事に新任されることが了承された。さらに山脇道夫氏、萩原幸夫氏、若槻雅男氏が理事に新任されることが了承された。

5. 閉 会

菅野会長より閉会の挨拶があった。

総会終了後、引続いて「私の日中交流—中国からの留学生受け入れ体験談」(講師：有山正孝本協会副会長、もと電気通信大学学長)と題する特別講演が、午後4時まで行われた。

画されているが、今年度内に開催することは困難である旨報告された。また日本国際貿易促進協会後援の「中国環境バイオセミナー」を主催する話がある旨報告された。

4. 中国人留学生研究奨励賞募集について

募集要項(案)が配布され、候補者の資格について最終確認された。

5. 人事について

菅野会長より向坊顧問を名誉顧問に、監事に梶井 功先生、理事に東大工学部システム量子工学専攻の山脇道夫教授を推薦したい旨提案され、全会一致で承認された。

目 次

私の日中交流

—中国からの留学生受け入れ体験記…… 1

電気通信大学名誉教授

もと電気通信大学長

本協会副会長 有山正孝

第27回(2001年度)定期総会議事録………17

第69回理事会議事録………18

第69回理事会議事録

日 時：2001年6月22日(金)

場 所：一ツ橋学生会館308号室 13:30～16:00

出席者：会長 菅野昌義 副会長 有山正孝

理事 鈴木 伸、常山昌男、深津 保、

藤崎博也、矢田敏夫、山脇道夫

委任状提出者15名

1. 前回議事録確認

2. 本年度総会に提出する議案について

菅野会長から2000年度事業報告、同収支決算報告、2001年度事業計画、同予算(案)について説明があり承認された。

3. 次回日中科技シンポジウムについて

菅野会長から薬学に関するシンポジウムが計